

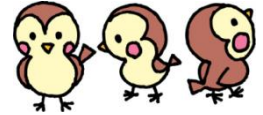


毎年秋から冬にかけて流行する感染性胃腸炎をご存知ですか。なんらかの病原体が腸に感染して様々な消化器症状を引き起こす病気です。子どもが突然おう吐や下痢をした時、最初に疑うポピュラーな病気です。病気について覚えておくといいですね。



感染性胃腸炎

感染性胃腸炎とは細菌やウイルスなどの病原体による感染症でウイルスによる胃腸炎が大半を占めています。



- ☆ウイルス：ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど
- ☆細菌：病原性大腸菌、サルモレラ菌、カンピロバクターなど

ウイルス性胃腸炎の特徴

潜伏期間：1～3日程度（病原体により異なります）

ノロウイルスによる症状：吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛
症状は1～2日間続きます

ロタウイルスによる症状：おう吐、下痢、発熱
症状は5～6日間続きます
*便は白っぽいのが特徴です

治療：☆乳幼児や高齢者では脱水症状を生じることがあるため早めの受診が大切です
（特別な治療はなく症状に応じた対症療法になります）
☆おう吐の症状が治ったら少しずつ水分を取りましょう
☆回復期は消化しやすい食事を摂りましょう
☆症状が治るまでお家でゆっくり過ごしましょう

経口補水を作ってみよう！

水1Lに砂糖40gと塩3gを入れて混ぜるだけ。レモンやグレープフルーツの果汁を少し加えてもいいですよ。

おう吐が落ち着いたら脱水予防！

体重(kg)と同じ量(ml)を5分毎に飲ませましょう。倍量を10分毎に飲ませてもいいですよ。



予防のポイント：★日ごろから石鹸と流水で隅々まで手を洗う習慣をつけましょう

（トイレの後、調理前、食事前、おむつ交換後の手洗いは特に重要です）

★ロタウイルスに関しては予防接種がありますので、かかりつけ医にご相談ください

★便やおう吐物を処理する時は二次感染に気を付けましょう

*二次感染予防ガイドブック（東京都福祉保健局）を検索してみてください。手洗い、洗濯の方法、消毒液の選び方など詳しく丁寧に書かれていますので、ご覧ください。



七五三を迎える保護者の皆さま、おめでとうございます。
子どもの成長は本当に嬉しいものです。これからも、グングンと心もからだも大きくなあれ！

園医の一言

下痢やおう吐で、お休みしているお子さんがいるようですね。診療所でも、おう吐で受診するお子さんが増えてきました。感染性胃腸炎は、感染力が強いのでご注意ください。

11月7日付

